

叱られる機会は、少なれば少ないほど良いと思っていましたし、叱られることを恐れている自分もいました。セミナーを受講し、上司が私のために尽くしてくれた言葉に真摯に向き合わなければと感じました。

保育園 3年目保育士

「先輩方はZ世代のことを分かってくれない」と、半ば諦める様な気持ちもありました。しかし、先輩・上司に対して、若手社員の私たちが歩み寄り、お互いに言葉を共有しなければいけないと痛感しました。

眼科医院 4年目スタッフ

入社した当時、自分自身のスキルアップが仕事の目的だと思っていました。しかし、それはあくまでも目標で、その先に「誰かの喜びを創る」という大きな仕事の目的があるということに気がきました。

美容室 2年目社員

「やりがい搾取」、「ブラック企業」の言葉に、社会に出る不安を抱えながら入社しましたが、自分自身の成長のために、真に大切なことを見つめ直す機会になりました。

菓子製造業 1年目社員

学校では教わってこなかった、日本という国の本当の姿、素晴らしさを学ぶことができました。海外への憧れだけでなく、自分の生まれた国をもっと学びたいと感じました。

幼稚園 2年目教諭

毎年、一年前から計画し全職員で参加しています。「先生」と呼ばれる仕事を選んだ者として、心の持ち方を全員で確認する大切な時間です。今年も楽しみしています！

幼稚園 理事長・園長

昨今の「働き方改革」についての様々な問題で、技術を学びたいと純粋に思っている人間の心のバランスがおかしくなってきたことがありました。そんなとき佐藤先生の言葉に多くの勇気をいただきました。シフトをやりくりして、いろいろな会場で受講させたいと思っています。

菓子製造・ペーカリー業 リーダー・幹部

多感な時期の「子どもたちの心に届ける言葉」を学びたく、教室長全員と参加しています。「もっと早く来ればよかった！」とセミナー受講後、全員が口を揃えています。今年もたくさん学びます。

学習塾 リーダー

毎年全員で受講しています。キャリア、年齢差など受講する職員も多様ですが、学校や本、日常業務や生活では決して気づくことのできない「人間として」の立ち居振る舞い、考え方を教えていただく宝物のようなセミナーです。

歯科医院 理事長・理事長

佐藤先生の人財化セミナーで、自分が若い社員たちに言葉を尽くしていないことをガツーンと一撃された気持ちになりました。一方、若い社員たちも心のコップを上に向けよう！と思ってくれた瞬間があり、日々お互いに言葉を惜しまず伝えようと確認し合えました。

宿泊業 幹部スタッフ

自分たちの仕事の目的を見失いそうになるとき、人財化セミナーで教えていただいたことをスタッフたちと共有します。「誰かのための自分」であること。いつもそこに立ち返ることができるようになりました。

美容室 経営者

受講した20代・30代の社員・職員の声

受講した各企業の中堅・ベテランの社員・職員の声

講座内容 開始：12時30分 / 終了：17時00分

第一講座 「何のために働くのか、何のために生きるのか」

一人ひとりにある、役割と使命。時代が変化する中でも、常に持つべき仕事の目的をお伝えします。

第二講座 「ただ生きるのではない～より善く生きるとは」

コロナを経て気付いた、“人間関係の中にある幸せ”。仕事を通じた幸せの実感とは、善く生きるとはどういうことか、お伝えします。

第三講座 佐藤芳直 一問一答

第四講座 まとめ講座

【講師】
株式会社S・Yワークス
代表取締役

佐藤芳直



お申し込み

同封のお申込書に記載し、
FAXをお送りください。

または

右記QRコードから
お申し込みください。
※ネット決済が可能です

弊社担当スタッフより
折り返しご連絡いたします。
料金のお振込方法等ご連絡致します

ご入金完了（正式申込み）

ご入金がお済みになり次第、
正式なお申込となります。

セミナー当日

同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。
FAX用紙が確認できましたら、S・Yワークスの担当者よりお電話をさせていただきます。その後、ご入金を確認できましたら、お申し込み完了となります。

一般
18,000 (税込) 円

学生
6,000 (税込) 円

※学生2名以上で参加の場合、お一人様4,000円 (税込)
※2023年4月以降も学生の方のみ

振込先

みずほ銀行 仙台支店 (店番号：723) 普 4326931

口座名義：株式会社S・Yワークス

(注：SとYの間に「・」ではなく「」ピリオドが入ります)
※尚、お振込み手数料はお客様負担とさせていただきます。

キャンセルポリシー

セミナー申込み後のキャンセルのお申し出がある場合、2023年2月14日以降のご連絡及び無断欠席は、ご参加費用の100%をキャンセル料として申し受けます。毎年満席となるセミナーですので、予めご了承ください。

株式会社S・Yワークス

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目2-25 仙台NSビル8F

TEL：022-722-2007 FAX：022-722-1770 HP：http://www.syw.jp

担当：内藤・島田・春藤・松橋



第23回 佐藤芳直

人財化 セミナー 2023

ただ生きるのではない
善く生きる

やりがいよりも労働に対する対価。働く喜びよりもプライベートの充実。

そんな、“ただ生きる”ための仕事ではなく、

仕事を通して、“善く生きる”とは何かを伝えることが、
最後の教育機関である企業が果たすべき責任ではないでしょうか。

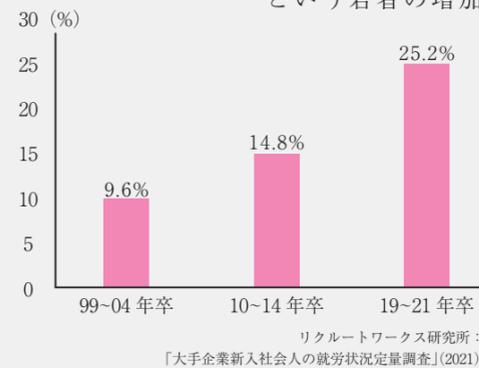
若手社員に迎合し、分かったフリをする上司になってはいませんか。

パワハラを恐れて、言葉を発しない先輩になってはいませんか。

心の奥底で感じる。しかし言葉にできない思いを、今年の人財化セミナーで代弁します。
今こそ言葉を尽くすことで、人財を育み、導くことができる企業を共に目指しましょう。

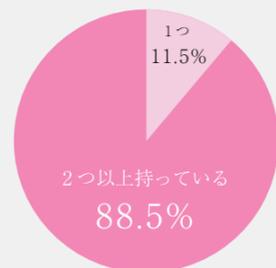


「一度も叱られたことがない」という若者の増加



新入社員時代に叱責された経験が無い若者が年々増加。現在、入社2~4年目を迎えている19~21卒の新入社員のうち、4人に1人が一度も叱責されたことが無いという調査結果も発表されました。

Instagramのアカウントをいくつ持っていますか？



複数のペルソナを持つ

ことが当たり前の若者

Instagramで複数のアカウントを持つZ世代は9割近くに昇り、多くの若者が複数のペルソナを持っていることが分かります。一人あたり3つのアカウントを所持していると想定すると、十人十色を超え、十人三十色と呼べるほどに、個性は細分化され、多様性が増しています。

チームプレイ・共創が得意

相手の気持ちを考え、それに応えようとするZ世代だからこそ、全員で共に行動し、成し遂げることにかけています。

唯一無二の自分で在りたい

誰かの役に立ちたいZ世代の特徴として、誰かにとって唯一無二の自分で在りたいと願う気持ちが強いことも挙げられます。

— 佐藤芳直に問う — 人財化セミナー 2023

“Z世代”と呼ばれる若者。ハラスメントを気にして叱ることができない風潮。様々な要因により、仕事のコミュニケーションに対する価値観が大きく変わる今、人財化セミナーを通して伝えなければいけないことがあります。今年のテーマ、“善く生きる”に込めた思いとは何か、佐藤芳直に尋ねました。



“善く生きる”というテーマに込めた
思いを教えてください。

コロナの3年間、私たちが学んだことは何だろうかと考えました。会いたい人に会えない。行きたい場所に行けない。そんな日々の中で「生きるってこんなことで良いのか」という実感を持った若者が多くいるように感じます。コロナ以前、孤独や友人関係の鬱陶しさを訴える若者が一定数いるということも耳にしていました。しかし、コロナを経験し、「生きるとは、より良い人間関係の中で幸せに生きることなんだ」と感じた若者が増えたのだと思います。最近よく言われるZ世代という言葉ですが、Z世代は人間関係を築くことが、“得意そうで苦手”だと感じます。非常に曖昧で希薄な繋がりの中で生きてきた今のZ世代。より良い人間関係の中で生きる

ことが幸せなのだ気づいたとしても、その関係性をどう築き、どう自分が振る舞うべきなのかが分からないと思います。仕事とは良い人間関係をつくる場であり、コロナでの気づきを発揮し、幸せになるための場でもあるということ、今年は深くお話ししたいと思います。そんな思いを込めて、“善く生きる”というテーマにしました。

今年の人財化セミナー2023で、
特に伝えたいことを教えてください。

今年の人財化セミナーでは、「善く生きる・仕事の目的・日本人らしさ」を、主にお伝えしたいと思います。その中で、特に若者に対して伝えたいことが4つあります。

1つ目は、日本が世界の中でどんなに素晴らしい評価を受けているのかということです。昨年の12月、ニューヨークへ行きましたが、抹茶や出汁を提供する店舗が増え、至る所に日本の文化を觀ました。嫌いな国のことを真似ることはありませんよね。これまで、学校では教えられてきていないかもしれませんが、世界から尊敬される日本をしっかりとお伝えしたいと思います。そこから派生する2つ目は、「私たちの前途は揚々たる」ということです。これから質化へと向かう世界の中で、世界は必ず日本に行き着きます。一つの列島の中で代々積み重ねてきた伝統・文化の中にある質。それをre・designしていくことには大きな可能性がありますし、今の若者たちには、その可能性を自分たちの強みとして発揮してほしいと思っています。

3つ目は、何故日本という国がここまで評価されるのかということです。それは社会資本が大きいと思います。日本の新幹線が定刻通りに運行できるのは、ゴミを捨てずに、乗り降りの順番を守るといった社会資本があるからだと思うのです。日本は非効率と言われることもありますが、メタ合理の中に日本の社会資本があり、それこそが世界の最先端なのだと伝えてたいと思います。最後の4つ目は、何を受け継いできた末の私たちなのか、ということです。私たちが先祖から受け継いできたのはロマンだと思います。ロマンとは、人間とは何かという思いです。休みや給与も大切だが、それ以上に、誰かに喜んでもらえる自分で在りたいというロマン。今の若者たちは、そのロマンを強く持っていると思いますし、そんな若者の未来を、経営者の方々と共に考える時間にしたいですね。

「Z世代だから…」と一括りにして諦めていませんか？

より一人ひとりに対して個別対応を怠らない

一人が複数のペルソナを持つ若者が増える中、“Z世代”と一括りにしては、その人のことは何も理解できません。個別対応で一人ひとりに接する意識をコミュニケーションのベースに置き、「複数のペルソナの中、どのあなたに向けて言葉を届けるのか」ということまで考える必要があります。

“3つの叱る”

叱り方には3段階あります。それは、①導く②示す③見せるという3つです。この3つの叱り方を連鎖的に実践しなければ、若者は育てられません。昔に比べ、理解にかかるスピードや理解までのプロセスが、一人ひとり多様化した中で、丁寧に導き、示し、見せることが、先輩・上司と呼ばれる皆さんの責務です。

日々の信頼関係の構築を怠らない

いざという時、先輩・上司の言葉が若者に届くかどうか。それを決定づけるのは日々の信頼関係です。日々の信頼関係は、コミュニケーションの頻度に起因します。日頃から、理解しようと思ふみ寄りしていますか？日々信頼関係を積み重ねる中で、世代ではなく、個別の理解度が高まり、より言葉が届くようになります。

Z世代は何を考えているのか分からない…。そんな言葉で、若者を一括りにし、一人ひとりを観ず、真に理解することを怠っていませんか。個別に言葉を届ける意識を心に置きましょう。